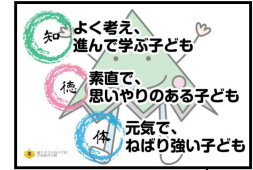




川内小学校だより

ゆずり葉

第8号
令和2年9月1日
桐生市立川内小学校発行



9月に入りました。2学期がスタートして1週間が経ちました。

先週8/24から今学期が始まり、1週間を過ごしましたが、ほとんどの子どもたちは夏休みぼけといった心配な様子も見られることなく、元気な姿を見せています。休みぼけが少ない理由の1つには、長期休みとは言え、期間が短かったことに加えて、自粛の音が様々飛び交っている中での夏休みだったこともあり、“十分に夏休みを満喫できなかった”という子どもが多かったことも上げられるかもしれません。

2学期がスタートしたとは言え、連日の猛暑の中、熱中症対策の観点から校庭での体育の授業や休み時間の外遊びを制限しなければならない日もありました。これから先もしばらくは油断はできません。子どもたちには、こまめに水分を補給することや日差しの中での行動について気を付けるように、日々呼びかけているところです。



心のこもった声、気持ちが入った声



新型コロナウイルス感染対策から、「人がいる所で大きな声を出すことは控えよう」という雰囲気があります。このことで、学習面で最も大きな影響が出ているのは音楽の授業です。合唱をはじめリコーダーや鍵盤楽器なども配慮や制限を余儀なくされています。こうした中、子どもたちも“大きな声を出さないようにしよう”という意識が働いている状況が続いています。

2学期の始業式は、1学期の終業式と同様に放送で行いました。このところの儀式や集会的な活動はほぼ放送での実施となり、これが当たり前のようになってきています。（話す側は、相手の顔が見えないため、まだ慣れないのですが…。）始業式の話の中で、「声」ということにふれながら子どもたちに呼びかけました。声が音量的には決して大きくなくても、相手に伝える時に「心をこめた声」「気持ちが入った声」を発することができれば、受け取る側の印象は全く違ってくるということ。朝、交わす挨拶ひとつとっても、随分違いがあることに気付いてほしいこと。「声」を意識することは、自分なりの考えや思いをしっかりと伝えていくためにとても大切であること。

川内小の子どもたちの中には学年問わず、これがすでにできている児童がたくさんいます。そんな魅力溢れる児童がさらに増えていくように、励まし見守っていきたいと思います。

民生委員さん・主任児童委員さんたちの登校時の見守り

昨年度までは毎月のはじめの頃に、民生委員さん・主任児童委員さんたちが、朝の登校時に子どもたちへの挨拶と見守りに立って下さっていました。しかし今年度は、新型コロナウイルスの影響でなかなかそれも叶わずにここまで来てしまっていました。それが、ようやく9月から再開していただけることになり、火曜日の朝、しばらくぶりに委員の皆様方のお顔を拝見することができました。「地域みんなで子どもたちを育てよう・見守り励ましていこう」という気持ちを強くもち、子どもたちに接して下さっていることに大変有り難く思いました。委員の方々も、子どもたちが気持ちよく挨拶を交わせる姿を目にして、大変喜ばれていたようでした。



「親子ふれあい」PTA 奉仕作業の取りやめについて

8/30(日)に予定していた親子PTA奉仕作業については、多数の申し込みがあったことに感謝しております。残念ながら今年度の奉仕作業は取りやめることとなりましたが、これにかかわりご理解をいただきまして有り難うございます。群馬県でもこれまでの感染者が400名を超える現状の中、少しでも感染リスクを避けるため、奉仕作業について取りやめの判断をさせていただきました。

今年は学校の行事・教育活動に加え、PTAの諸活動も毎年行ってきたことが思うように実施できない状況に、もどかしさを感じている日々ですが、この先も実施可能なことをスタイルや方法を工夫しながら取り組んでいきたいと考えています。

10/17(土)に延期させていただいた運動会ですが、こちらも開・閉会式をはじめ、競技や演技内容の縮小を検討しているところです。一方で、保護者皆様の見守りや応援についても、ソーシャルディスタンスの観点から、応援する方々の人数、場所など、応援のスペースやその混み具合を考慮したお願いをしていくことも考えられます。

8/31(月)の夜、PTAの本部・運営の役員皆様方の会合があったので、そこでもご意見をいただくことができました。これらを参考とさせていただき、さらに検討を重ねながら、お願い・ご提案をしていくことになると思いますがご理解下さい。

—PTA本部役員会・運営委員会に参加の皆様には大変お世話になりました。—

いずれにしましても、今後の感染状況や県の警戒レベルなどをふまえながら、急な対策が迫られることなど出てくるかもしれませんが、子どもたちや保護者、教職員の健康・安全を考えながら検討・判断させていただきますので、その際にはなにとぞご理解とご協力をお願いします。